

## 北アルプス医療センターあづみ病院 令和4年教育計画

北アルプス医療センターあづみ病院教育理念：J/A長野厚生連教育理念に則った、患者主体の看護を提供できる看護師を育成します。

教育目的：地域からのニーズに応じ、チーム医療の中で適切な看護を提供するために、看護倫理に基づいた行動と人間力豊かな感性を育み、専門的知識・技術を向上させ、自律した看護実践ができる人材を育成する。

- 教育目標：1. 臨床看護実践能力レベルに基づいたキャリア開発ができるように、臨床実践・教育・管理に必要な知識・技術・態度に関する学習の機会を提供する。  
 2. 社会人、医療人としての基本的なコミュニケーション技術を身に付け、患者・家族、チーム医療内の人間関係を築き、調整を図る。  
 3. 知識・技術の習得し、経験から学ぶことにより臨床判断力を高め、適切な看護サービスを提供できる。  
 4. 看護サービスの質の向上、組織目標の達成のために看護実践や役割などを通してマネジメント能力を養う。  
 5. 看護実践を客観的に捉え、論理的思考や科学的な裏づけに基づき分析し、研究的に取り組み姿勢を養う。  
 6. 各自が主体的に仕事の目的・目標を選択し、仕事とライフスタイルの調和や自分らしさを創るキャリアが開発できる。

### レベル別研修（ナースングスキル 必須）

対象者	動画講義名	視聴期間	概要	学習目標
ラダーレベルⅠ	社会人基礎力の基礎	4-6月	社会人基礎力の「3つの能力と12の能力要素」についての基礎知識を学び、なぜ看護師に社会人基礎力が必要であるのかについて理解する。Withコロナ時代に求められる看護人材、および必要な社会人基礎力について学ぶ。どのように社会人基礎力を鍛えるのか、また、社会人基礎力の評価方法について学ぶことで、自分自身の社会人基礎力について振り返る機会となる	1.社会人基礎力とは何か理解する 2.社会人基礎力の3つの能力と12の能力要素を理解する 3.なぜ看護実践に社会人基礎力が必要なのか考えることができる 4.Withコロナ時代に必要な看護人材と、必要な社会人基礎力について理解する 5.社会人基礎力の鍛え方を理解する 6.社会人基礎力の自己評価を行い、自分自身について振り返ることができる
	看護記録～基礎編～	7-9月	看護記録の基礎知識について学習する。看護記録の基本的な知識、看護記録と法律の関係や看護記録の目的、内容について、看護記録に書かなくてはならない情報や書いてはいけない表現について、具体例とともに学ぶ	1. 看護記録の基本的な知識を習得する 2. 看護記録に書かなくてはならない情報や、書いてはいけない表現について理解する
	仕事についていけないと感じたときどうしたらいいの？	10-12月	新人看護師の多くが直面する「仕事がつらい」「仕事についていけない」という感情。こうした思いが転職につながることも少なくない。本講義では、新人看護師がたどる職場適応過程と、ストレスに対する対処法を、新人看護師が自ら学ぶ。そうすることで、自分自身のメンタルヘルスを向上させ、職場への適応を促進する。また、COVID-19に関連する拘禁反応などのストレスについても学び、コロナ禍における心の健康を維持する方法を考える	1.リアリティショックについて理解する 2.ストレス反応が起こる仕組みを理解する 3.ストレスに対する対処法を理解する 4.ストレスを低減するためのセルフケアの方法を考えることができる
	上手な叱られ方	1-3月	先輩・上司から叱られた場合の対処方法、後輩を叱る場合の注意点、モチベーションを管理する方法などを説明する。また、人の考え方の特徴や今ときの新人の特徴を学ぶことで、先輩・上司、後輩を理解することにつなげる	1.ほめ方・叱り方の基本、上手な叱られ方を理解することができる 2.先輩・上司の考え方や、新人・若手の特徴を理解することができる 3.モチベーションを管理する方法を理解することができる
ラダーレベルⅡ	現場の事例で学ぶ対人対応能力向上のためのコミュニケーション術	4-7月	医療現場に必要となる対人対応能力向上のためのコミュニケーション術を身につける。接遇の基本行動、自己・他者理解に活用できる気質分類を学ぶ。また、事例検討型研修の意義と必要性について理解し、実際の現場の事例を通して対人対応について検討していく	1.医療現場で必要とされる基本的な接遇行動について理解する 2.自己理解と他者理解のために気質分類について理解し実践できるようになる 3.事例検討型の研修がなぜ必要なのか、どのように設定すればよいのかを理解する 4.実際の事例検討を通して、適切な対応方法について理解する
	看護記録～中堅編～	8-11月	中堅の看護師が、新人看護師の指導にあたる際に活かせるような内容。中堅編では、より質の高い看護記録を目指して、質の高い看護記録の要件を理解し、記録様式による記録方法の違いや、効率よく記録するための検討事項について学ぶ。また、看護記録が法的証拠能力を持つこと、具体的な医療事故発生時の記録の基準について学習し、最終的には、看護記録に関する教育と監査の必要性について理解を深める	1.質の高い看護記録の要件、記録法を理解する 2.看護記録の法的な位置付けや医療事故発生時の記録の基準を理解する 3.看護記録の教育、監査の必要性について理解する
	終わりのない仕事にどのようにモチベーションを保てばいいの？（先輩看護師の皆さんのメンタルヘルスケア）	12-3月	臨床現場の中核を担う中堅看護師。山積する業務や増大する役割のなかで、意欲の低下やバーンアウトが生じることは珍しくない。本講義では、そのような中堅看護師が置かれている状況や、モチベーションが低下する原因について理解し、ストレスへの対処方法とモチベーションを維持する方法を学ぶ。COVID-19関連のストレス反応についても触れていく	1.中堅看護師が置かれている状況を理解し、モチベーションが低下する原因がわかる 2.モチベーションの低下に対する対処方法を習得する 3.モチベーションを維持する方法を現実的に考えることができる

ラダーレベルⅢ	迅速なフィジカルアセスメントで行う急変予測と対応	4-7月	急変的確に対応すること、同時に急変させないように急変前に対応することは、患者さんの命を守る上で重要なことである。フィジカルアセスメントを用いて、この実践方法を習得する	1.人間が生きるための機能、急変までの生理的变化を理解する 2.脳・呼吸・循環の機能が障害された症状のアセスメント項目を習得する 3.急変時の変化に沿った対応について理解する 4.急変の予兆を、意識、呼吸、循環の様子で見る手掛かりが理解できる 5.急変時の一次評価とその対応について、具体例を通して理解する
	臨床コーチング入門編	8-11月	コーチングとは何かについて具体的に解説し、その後、コーチング基本スキルの「聴く」、「質問する」、「承認する」ことの意味合いやその効果について学ぶ。また、看護師としてのコーチング入門編として会話例を通じてコーチングの会話を学ぶ	コーチング基本スキルの「聴く」、「質問する」、「承認する」ことの意味合いやその効果、コーチングの会話を学ぶ
	社会保障制度の動向-地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割-	12-3月	進展する少子高齢化、地域社会の変化、地域需要の変化から、現代を地域包括ケア時代と位置付け、高齢者を社会的弱者としてケアするのではなく、生活の中で病気や障害と付き合いながら自分らしく生きていくためにどのような考え方・意識・スキルを現場で活用していくのかを学んでいく。地域包括ケア時代において生活を重視した医療への切り替えについて理解を深め、目的達成に向けて課題解決をしていくという思考を持ったマネジメント力について考える	1.地域包括ケア時代における社会保障制度の動向について理解できる 2.元高齢者を生み出す地域づくりについて説明できる 3.地域包括ケア時代における医療と介護の役割について説明できる 4.ヘルスプロモーションにおける元高齢者の育成・支援の必要性について理解できる 5.生活を支えるための医療・介護について理解できる 6.病院だけでなく地域全体で連携を強化していく看護師の役割について理解できる 7.看護師としてマネジメント力を発揮するためには目標達成型の患者が重要であると理解できる
	【倫理研修】集合研修の代わり 身体拘束について考える（スタッフ編）	1年間	身体拘束に係る現状から問題点や弊害について学び、固定観念や独善的な視点による身体拘束を回避するための方策について理解を深める。また、事例を用いた講義では、身体拘束に係るアセスメントの視点、患者への対応などを具体的に考えることができる知識と能力を身につける	1.身体拘束による問題点および弊害について理解できる 2.身体拘束が必要になる状況を判断できる 3.身体拘束をせずに患者の安全を守る方策について考えることができる
	【倫理研修】集合研修の代わり 病院で働く職員に向けた臨床倫理	1年間	職種にかかわらず、病院で働く誰もが知っておきたい“倫理”について分かりやすく解説あり。本講義では、日常の業務で遭遇するような身近な事例を検討しながら、医療倫理について学びを深めていく	1.臨床倫理の基本的な原則を学ぶ 2.インフォームド・コンセントならびにそれと対になる診療辞退について学習する 3.医療におけるプライバシーと守秘義務について学習する 4.人生の最終段階、終末期医療における医療・ケアの倫理について、国内外の動向を含めて学習する 5.事例検討を通して、臨床倫理について考えを深める
ラダーレベルⅣ	臨床コーチング入門編	4-7月	コーチングとは何かについて具体的に解説し、その後、コーチング基本スキルの「聴く」、「質問する」、「承認する」ことの意味合いやその効果について学ぶ。また、看護師としてのコーチング入門編として会話例を通じてコーチングの会話を学ぶ	コーチング基本スキルの「聴く」、「質問する」、「承認する」ことの意味合いやその効果、コーチングの会話を学ぶ
	管理者に求められる倫理的なリーダーシップ	8-11月	臨床倫理が定着する組織づくりのための看護管理者向けの講義。看護管理者として踏まえておくべき基本的な倫理原則の確認と、患者の意思決定を支えるために必要な「生命の二重性」について理解し、患者の意思を尊重するためにACP（人生会議）が担う機能と、ACPにおける医療者の役割について理解を深める。また、臨床におけるアドボケートの意味と看護師の役割について学び、倫理的な組織文化を醸成していくためのチーム医療のあり方、管理者として持つべき視点を養う。	1.臨床倫理の原則を理解する 2.患者にとって最善を選択するための意思決定のプロセスを学び、そのためのACP（人生会議）のあり方を理解する 3.臨床におけるアドボケートの意味、アドボケートとしての看護師の役割を理解する 4.組織文化に臨床倫理を定着させるための医療チームのあり方を学ぶ 5.臨床倫理検討シートを活用できるようになる
	思考力を伸ばす指導	12-3月	本講義の講師である阿部幸恵先生の「新人・学生の思考力を伸ばす指導」をテキストとして、思考力を伸ばす指導ができる看護師を育成するための講義。指導場面の動画を織り交ぜながら、指導とは何か、指導者としての心構え、学習者のレディネスやOJT、Off-JTについて学び、良い指導方法とはどのようなものかを理解できる構成となっている	1.指導とは何かを説明できる 2.指導者としての心構えを自分の言葉で伝えることができる 3.学習者のレディネスとレディネスをとらえる視点が説明できる 4.OJTとOff-JTの特徴が説明できる 5.OJTで効果的に思考を伸ばす指導について説明できる
	【倫理研修】集合研修の代わり 身体拘束について考える（スタッフ編）	1年間	身体拘束に係る現状から問題点や弊害について学び、固定観念や独善的な視点による身体拘束を回避するための方策について理解を深める。また、事例を用いた講義では、身体拘束に係るアセスメントの視点、患者への対応などを具体的に考えることができる知識と能力を身につける	1.身体拘束による問題点および弊害について理解できる 2.身体拘束が必要になる状況を判断できる 3.身体拘束をせずに患者の安全を守る方策について考えることができる
	【倫理研修】集合研修の代わり 病院で働く職員に向けた臨床倫理	1年間	職種にかかわらず、病院で働く誰もが知っておきたい“倫理”について分かりやすく解説あり。本講義では、日常の業務で遭遇するような身近な事例を検討しながら、医療倫理について学びを深めていく	1.臨床倫理の基本的な原則を学ぶ 2.インフォームド・コンセントならびにそれと対になる診療辞退について学習する 3.医療におけるプライバシーと守秘義務について学習する 4.人生の最終段階、終末期医療における医療・ケアの倫理について、国内外の動向を含めて学習する 5.事例検討を通して、臨床倫理について考えを深める

ラダーレベルV	組織も人もつぶさない！未来に価値が残る組織づくりNo1 ～つぶれない、つぶされない組織をつくらう～	4-7月	つぶれない、つぶされない組織づくりを目指すためのエッセンスについて、地域との連携の重要性など現代の医療を取り巻く状況を交えながら、4つの項目を学ぶ。(外来の重要性について、インクルーシブな組織づくりについて、ユビキタスケア、切れ目のないケアの実践について学び、地域と病院の連携について、現代におけるIT革命、シンギュラリティの時代においてどのように組織を変革していくべきか)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療を取り巻く社会情勢を理解する。</li> <li>2. 外来看護の重要性を理解する。</li> <li>3. インクルーシブな組織がどのような組織かを理解する。</li> <li>4. 地域と病院の連携の重要性を理解する。</li> <li>5. シンギュラリティの時代を生き抜くための考え方を理解する。</li> </ol>
	組織も人もつぶさない！未来に価値が残る組織づくりNo2 ～つぶれない、つぶされないヒト・自分をつくらう～	8-11月	ソフト面である「じんざい」つまり組織成員にスポットをあてた組織づくりについて学ぶ。(スタッフを「人財」として捉え、スタッフの育成に必要とされるエッセンスについて、想像力と創造力を働かせたダイアログを展開していくためのノウハウについて、医療の上位目的と支援側の幸福と健康、看護師が幸福であるための自己理解、自己成長に役立つ理論・概念について学び、中でもSense of Coherence(自尾一貫感覚)について理解を深める、ワークライフインテグレーションの概念について学び、組織成員が幸せに働くことができる組織について理解を深める)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織における人財育成で必要とされる事項を理解する。</li> <li>2. 人財育成では、想像力と創造力を用いることが重要になることを理解する。</li> <li>3. Sense of Coherenceについて理解する。</li> <li>4. 組織のアウトカムには組織成員のアウトカムも含まれることを理解する。</li> </ol>
	クリニカルラダーを活かした人材育成	12-3月	人材育成にクリニカルラダーをどう活かすか、また活かせるクリニカルラダーとはどういったものを各回一つの問いを通して学ぶ。第1回では看護師個人、組織、さらにはその両者間におけるクリニカルラダーの意味、第2回ではクリニカルラダーを活用するためのポイント、第3回では看護管理者が果たす役割、第4回では組織でのクリニカルラダーの活用方法を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師のキャリア開発と組織の運営において、クリニカルラダーがどのような指標であり、両者にとってどのように位置付けることで人材育成に活かせるのかが理解できる</li> <li>2. クリニカルラダーの基本的な仕組みと人材育成に活用する際のポイントについて理解できる</li> <li>3. 人材育成の場において、看護管理者はクリニカルラダーをどのようにとらえ、どのように構築していくかを理解できる</li> <li>4. クリニカルラダーを組織の中でどのように運営したらよいかを理解できる</li> </ol>
ラダーレベルI-V (一般病棟)	看護必要度 →内容更新される？ 診療報酬改定のため	保留		

### レベル別研修(集合研修)

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
ラダーレベルⅢ～Ⅳ	ファシリテーション研修	数回に分けて開催	話し合いの円滑な運営を促進し、参加メンバーの自主性を向上させるファシリテーションの基礎スキルを学ぶ	1. ファシリテーションの役割を学び、ファシリテーションに関するスキルを養うとともに、日々の実践のふりかえりから、今後の課題が明確になる。	事前課題：ナースングスキル 医療職のための会議 ファシリテーションスキル 講義 グループワーク	現任教育委員会

## 役割別研修

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
レベルⅠ 新人看護師	メンバーシップ (新人看護師研修の年間計画に組み込む)	7月	チームの中で求められる役割を理解し、メンバーシップを発揮する。	1. 部署内での自分の役割を理解する。 2. 自己と他のメンバーの立場や役割を認識し、チームの一員として他のメンバーとチームワークをとり患者に看護を提供する。	講義 グループワーク	固定チーム推進委員
レベルⅡ プリセプター	プリセプター研修	3-4月 9-10月 2-3月	プリセプターの役割を理解し、自部署での新人看護師への教育方法について考え実践できる。	1. プリセプターの役割について、講義やグループワークを通して理解を深める。 2. 自己の新人看護師への関わりから、自己の教育的関わりの課題を考えらる	講義 グループワーク	新人教育委員会 (プリセプター担当者)
レベルⅡ 日々リーダー	リーダーシップⅠ	6月 10月 2月	リーダーシップの基本的な考え方を学び、リーダー役割を担う上で必要な役割機能・態度を習得できる。	1. リーダーとしての方向性が明確になりその責任が遂行できる。 2. チームの中での、日々リーダーとしての役割を理解し、課題が明確になる	講義 グループワーク	固定チーム推進委員
レベルⅢ チームリーダー	リーダーシップⅡ	5月 9月 2月	自部署に求められる看護を理解し、リーダーとしての役割を発揮できる	1. リーダーの役割を学び、自己の課題を明確にできる。 2. チーム・部署の現状を分析し、問題を明確にしながら問題解決に取り組む。 3. 年間も目標の立案を学び、実践に則した目標・計画を立案できる。 4. ファシリテーターの役割を理解し、チーム会n企画書を作成し運営できる	講義 グループワーク	固定チーム推進委員
レベルⅢ・Ⅳ メンター	メンター研修	4-5月 10月 2月	メンターの役割を理解し、自部署でのプリセプターへの教育・支援方法について考え実践できる。	1. メンターの役割について、講義やグループワークを通して理解を深める。 2. 看護教育に必要な知識や心構えを学び、プリセプターを交えながら教育場面を内省し、傾向や課題を明確にし、プリセプターと共に新人看護師教育を実践する	講義： グループワーク	新人教育委員会 (指導者者育成担当者)
レベルⅢ・Ⅳ 教育担当者	教育担当者研修	4-5月 10月 2月	看護教育の考え方について理解し、課題が明確にできる	1. 看護教育に必要な知識や心構えを学び、実践を交えながら教育場面を内省し、傾向や課題を明確にし、実践する	講義： グループワーク	新人教育委員会 (指導者者育成担当者)

## 看護研究

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法	担当者
看護研究実践者	看護研究 (1年目) (2年目)	日程は後日	看護研究の意義や目的を理解してできる 看護研究のテーマを考え、看護研究計画書を立案し、実践できる	看護研究の意義や目的について学ぶ。また、研究発表に至るまでのプロセスについて知り、将来の看護研究活動の足掛かりとする 看護研究のプロセスを学び、文献検索やクリティックができる。 看護研究計画書を作成し、実践できる	e-ラーニング 講義：木下愛未さん 院内学会発表 院外学会発表	看護研究

## 専門研修研修

### がん化学療法看護（ナーシングスキル）

対象者	講義名 手技：カテゴリー	動画講義名	期間	概要	学習目標
ラダーレベルⅠ～Ⅳ	<がん看護技術> ONC-0001 がん薬物療法の実施 ONC-0002 がん薬物療法オリエンテーション 手順・基本事項・病院独自（ケモセーフロックの使用） 映像・テストの各項目を熟読する <クリティカルケア看護技術> CRI-0003 皮下埋め込み型ポート：ポート針穿刺・抜去・ケア 手順・基本事項・病院独自・映像・テストの各項目を熟読する	なし	1年間	がん薬物療法の実施、オリエンテーションについて、手順・基本事項・病院独自・映像・テストの各項目に沿って学ぶ。 皮下埋め込み型ポートの穿刺・抜去・ケアについて、手順・基本事項・病院独自・映像・テストの各項目に沿って学ぶ。	1. 看護師ががん薬物療法の実施の手順について理解ができる 2. 看護師ががん薬物療法を手順に沿って実施できる 3. 看護師ががん薬物療法に伴う副作用の予防対策・早期発見・対応ができる 4. 看護師ががん薬物療法に関連する職業性曝露の予防ができる 5. 皮下埋め込み型ポートの穿刺・抜去・ケアが手順に沿って実施できる
ラダーレベルⅠ ラダーレベルⅡ	<がん看護技術> がん治療に伴う有害事象マネジメントの項目から興味のある項目を3つ選択し熟読する	安全な静脈注射の実施を目標して ～レベル1・2～	1年間	第1回は、看護師による静脈注射の歴史的背景と意義について知識を習得。第2回および第3回では静脈の解剖学的知識と静脈穿刺時の合併症を学ぶ。それらを踏まえて、第4回と第5回では合併症の予防とリスクの対処法を学ぶ。	1. 看護師による静脈注射の意義について理解できる 2. 静脈の解剖学的知識を踏まえ、安全な血管の選択方法を学ぶ 3. 静脈穿刺時の事故発生後の対応ができる 4. 静脈注射の合併症の予防、早期発見、対応ができる 5. 末梢静脈留置針の安全管理ができる
ラダーレベルⅢ ラダーレベルⅣ	<がん看護技術> がん治療に伴う有害事象マネジメントの項目から興味のある項目を5つ選択し熟読する	安全な静脈注射の実施を目標して ～レベル3～	1年間	静脈注射に関する基礎知識をもち、静脈穿刺の実施を志す看護師に向けた講義。第1回は、看護師による静脈注射の歴史的背景と意義について知識を習得。第2回および第3回では静脈の解剖学的知識と静脈穿刺時の合併症を学ぶ。それらを踏まえて、第4回と第5回では合併症の予防とリスクの対処法を学ぶ。	1. 看護師による静脈注射の意義について理解できる 2. 静脈の解剖学的知識を踏まえ、安全な血管の選択方法を学ぶ 3. 静脈穿刺時の事故発生後の対応ができる 4. 静脈注射の合併症の予防、早期発見、対応ができる 5. 末梢静脈留置針の安全管理ができる

### 緩和ケア分野

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法
ラダーレベルⅠ	新人看護師研修年間教育プログラム参照	新人看護師研修年間教育プログラム参照	緩和ケア対象者（患者・家族）を全人的に捉え、緩和ケアにおける基礎・基本を身につけることができる	1.緩和ケアの定義がわかる 2.なぜ、いまACPが注目されているのか理解できる 3.全人的苦痛（トータルペイン）への対応がわかる 4.もしバナゲームを体験し、自身の人生最期の過ごし方を考え、自己の価値観を明確にすることができる 5.緩和ケア対象者の過ごし方を考えることや価値観に触れることの大切さを理解することができる 6.看取りのためのパンフレットの内容がわかる 7.エンゼルケア・エンゼルメイクの技術を理解することができる	講義
ラダーレベルⅡ以上	ナーシングスキル動画講義 ・専門領域スキルアップ 「アドバンス・ケア・プランニングとは？」	動画再生時間 約68分 期間：1年	<概要> アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の概要から具体的な進め方まで、事例を交えながら学習する。ACPの必要性、効用と問題点を学ぶ。ACPとアドバンス・ディレクティブ（AD）の違いを理解し、本人・代理決定者・医療者の三者で話し合うことの重要性を考える。ACPの概要を理解し、具体的な支援の方法を学習する	1.ACPの概要について理解できる 2.なぜ、いまACPが注目されているのか理解できる 3.ACPとADの違いからACPにおいて本人・代理決定者・医療者の三者で進めていくことの重要性が理解できる 4.ACPの効用と問題点が理解できる 5.なぜ、ACPが「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に盛り込まれているのか学び、平成30年改訂の要点を把握する 6.ACPの進め方の概要および具体的な方法が理解できる	ナーシングスキル動画講義 テスト回答
ラダーレベルⅡ以上	ナーシングスキル動画講義 ・専門領域スキルアップ 「家族に寄り添うグリーフケア」	動画再生時間 約74分 期間：1年	<概要> エンゼルケアの基本、死化粧、グリーフケアの目的と家族とのコミュニケーション、急死した場合の死後処置とその場合のグリーフケアについて学ぶ。患者の死に関わる看護の仕事において、身体の死後の変化を踏まえたケアのポイントを理解し、家族の心情をくみとりながら行うグリーフケアについて学ぶ	1.エンゼルケアおよびグリーフケアの基本的な考え方、技術を理解する 2.家族の視点を理解し、医療者としてどのような対応をすべきか考える	ナーシングスキル動画講義 テスト回答

皮膚・排泄ケア領域

対象者	研修名	研修日	目的	目標	方法
ラダーレベルⅢ・Ⅳ	ストーマケアの基礎（周期期以外）	日程は後日	ストーマケア方法の基礎を理解し、看護のポイントを学ぶ	コロストミー・イレオストミー・ウロストミーの全てにおいて	講義と演習
ラダーレベルⅡ・Ⅲ	コンチネンスケアの基礎	日程は後日	コンチネンスケアを理解し、看護のポイントを学ぶ	1. コンチネンスケアを理解する 2. おむつを正しく当てることができる 3. 家族や関係機関のスタッフ指導ができる	講義と演習
ラダーレベルⅢ・Ⅳ	下部尿路機能障害の基礎と尿路感染症の具体的な予防策	日程は後日	下部尿路機能障害を理解し、看護のポイントを学ぶ	1. 下部尿路機能障害について理解する 2. 排尿日誌の記載方法を理解し、活用できる	講義と演習

（令和2年褥瘡・スキンケア研修未受講者、令和3年動画講義未視聴者）

対象者	動画講義名	期間	概要	学習目標	備考
ラダーレベルⅡ～Ⅲ	最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法 第1回褥瘡の国際的定義と褥瘡の予防。 第2回では褥瘡の予防と治療への介入 第3回では創傷のアセスメント 第4回ではトピックとして、医療関連機器圧迫創傷やスキン・ケア	1年間	褥瘡の予防と治療：クイックリファレンスガイド日本語版」に基づいて、日々のケアに活かせる最新の褥瘡管理方法について学習する。	1. 褥瘡の国際的定義と褥瘡の予防について理解する。 2. 褥瘡の予防と治療への介入について理解する。 3. 創傷のアセスメントについて理解し、医療関連機器圧迫創傷やスキン・ケアについて理解する 4. OJTで1～3を実践する	令和2年褥瘡・スキンケア研修会のどちらか受講した⇒ 第3回創傷のアセスメントのみ 両方とも未受講 ⇒第1回～4回

院外研修

レベルⅠ	看護協会 レベルⅠ 3支部合同新人研修
レベルⅡ	フレッシュ研修（3年目）（厚生連） ICSLセミナー 看護協会 レベルⅡ 農村保健研修センター
レベルⅢ	認定看護師・専門看護師・学会認定資格など 幹部看護職員研修（厚生連） ファンリレーション研修（厚生連） 看護協会 レベルⅢ 農村保健研修センター
レベルⅣ	ファーストレベル（看護協会） 目標管理（厚生連） 医療メディエーション 看護協会 レベルⅣ 農村保健研修センター
レベルⅤ	セカンドレベル・サードレベル（看護協会） 医療安全管理者 看護協会 レベルⅤ 農村保健研修センター

医療安全研修会	年間2回の受講が必須
院内感染対策研修会	